

環境調査結果のお知らせ

平成29年4月14日午前10時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

湾内の環境は、水温18.0～18.5℃、塩分32.1～35.0、溶存酸素量6.7～10.7mg/lでした。前回調査時(H29.3.16)と比較して、水温は全層で2.1～2.3℃上昇しました。塩分は表層から10mで0.2～2.0下降しました。溶存酸素量は表層から5m層で0.2～1.7mg/l上昇し、10mから底層で0.9～1.1mg/l下降しました。

透明度は0.5～6.0mでした。

検鏡の結果、魚類に有害なヘテロシグマ・アカシオがが最高で19,000cells/ml、麻痺性貝毒の原因となるアレキサンドリウム属が最高で390cells/ml確認されました。なお、ココロディニウム・ポリクリコイデスやカレニア・ミキモトイは確認されませんでした。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

表1 水温(℃)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H29.3.16)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	18.2	18.5	18.3	18.1	18.3	16.2	2.1	18.4
2m	18.4	18.4	18.2	18.4	18.4	16.1	2.3	18.2
5m	18.2	18.4	18.2	18.3	18.3	16.1	2.2	18.1
10m	18.1	18.1	18.2	—	18.1	16.0	2.1	18.1
B-1m	18.0	18.0	18.1	18.1	18.0	15.9	2.1	18.1

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H29.3.16)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	32.6	33.3	33.2	32.1	33.0	35.0	▲ 2.0	31.4
2m	33.6	33.7	33.7	33.6	33.6	35.0	▲ 1.4	33.3
5m	34.4	34.5	34.7	34.2	34.5	35.0	▲ 0.5	34.3
10m	34.8	34.8	34.9	—	34.8	35.0	▲ 0.2	34.8
B-1m	35.0	35.0	35.0	34.9	35.0	35.0	0.0	34.9

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H29.3.16)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	10.7	10.2	9.6	9.9	10.1	8.4	1.7	12.1
2m	9.7	9.4	8.9	8.7	9.3	8.2	1.1	8.7
5m	7.3	10.2	7.4	7.6	8.3	8.1	0.2	7.4
10m	6.9	7.0	7.3	—	7.1	8.0	▲ 0.9	6.8
B-1m	6.7	6.7	7.0	6.7	6.8	7.9	▲ 1.1	6.8

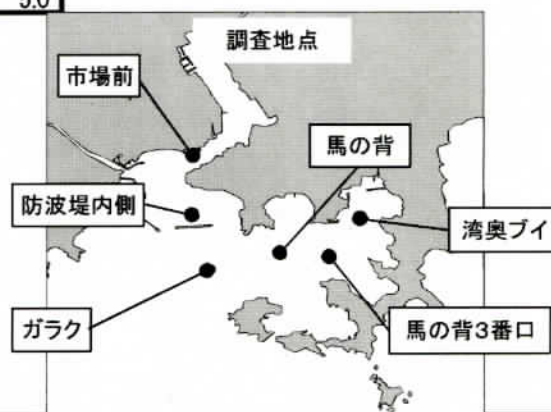
※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	21.1	20.0	23.0	11.9	13.4
透明度	4.5	4.5	6.0	4.0	0.5
前回(2/16)	6.0	10.0	11.0	6.0	5.0

表5 プランクトン(cells/ml)

調査地点	水深	ヘテロシグマ・アカシオ	アレキサンドリウム属	ココロディニウム・ポリクリコイデス	カレニア・ミキモトイ	珪藻類
		湾奥ブイ	0m	296	57	0
	2m	419	65	0	0	18
	5m	216	143	0	0	35
馬の背	0m	950	87	0	0	70
	2m	480	66	0	0	50
	5m	360	390	0	0	50
ガラク	0m	261	46	0	0	26
	2m	151	34	0	0	36
	5m	184	74	0	0	17
津波防波堤内側	0m	270	16	0	0	43
	2m	3,800	16	0	0	600
	5m	1,300	7	0	0	60
市場前	0m	19,000	73	0	0	50
	2m	4,900	18	0	0	50
	5m	480	49	0	0	10



漁業被害が想定される細胞密度

- ・ヘテロシグマ・アカシオ：  
10,000～50,000cells/ml(魚類のへい死)
- ・アレキサンドリウム属：  
500(カテナラ)～cells/ml(貝の毒化)
- ・ココロディニウム・ポリクリコイデス：  
数百～1,000cells/ml(魚類のへい死)
- ・カレニア・ミキモトイ：  
数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)

表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤 内側	漁場平均※	前回調査(H29.3.16)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	18.2	18.5	18.3	18.1	18.3	16.2	2.1	18.4
2m	18.4	18.4	18.2	18.4	18.4	16.1	2.3	18.2
5m	18.2	18.4	18.2	18.3	18.3	16.1	2.2	18.1
10m	18.1	18.1	18.2	—	18.1	16.0	2.1	18.1
B-1m	18.0	18.0	18.1	18.1	18.0	15.9	2.1	18.1

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤 内側	漁場平均※	前回調査(H29.3.16)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	32.6	33.3	33.2	32.1	33.0	35.0	▲ 2.0	31.4
2m	33.6	33.7	33.7	33.6	33.6	35.0	▲ 1.4	33.3
5m	34.4	34.5	34.7	34.2	34.5	35.0	▲ 0.5	34.3
10m	34.8	34.8	34.9	—	34.8	35.0	▲ 0.2	34.8
B-1m	35.0	35.0	35.0	34.9	35.0	35.0	0.0	34.9

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤 内側	漁場平均※	前回調査(H29.3.16)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	10.7	10.2	9.6	9.9	10.1	8.4	1.7	12.1
2m	9.7	9.4	8.9	8.7	9.3	8.2	1.1	8.7
5m	7.3	10.2	7.4	7.6	8.3	8.1	0.2	7.4
10m	6.9	7.0	7.3	—	7.1	8.0	▲ 0.9	6.8
B-1m	6.7	6.7	7.0	6.7	6.8	7.9	▲ 1.1	6.8

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤 内側	市場前
水深	21.1	20.0	23.0	11.9	13.4
透明度	4.5	4.5	6.0	4.0	0.5
前回(2/16)	6.0	10.0	11.0	6.0	5.0

表5 プランクトン(cells/ml)

		ヘテロシグ マ・アカシオ	アレキサン ドリウム属	コクロディニ ウム・ポリク リコイデス	カレニア・ ミキモトイ	珪藻類
湾奥ブイ	0m	296	57	0	0	25
	2m	419	65	0	0	18
	5m	216	143	0	0	35
馬の背	0m	950	87	0	0	70
	2m	480	66	0	0	50
	5m	360	390	0	0	50
ガラク	0m	261	46	0	0	26
	2m	151	34	0	0	36
	5m	184	74	0	0	17
津波防波 堤内側	0m	270	16	0	0	43
	2m	3,800	16	0	0	600
	5m	1,300	7	0	0	60
市場前	0m	19,000	73	0	0	50
	2m	4,900	18	0	0	50
	5m	480	49	0	0	10